

(2) 牛田早稲田2丁目のがけ崩れ災害

牛田早稲田2丁目の市道東4区41号線（通称：神社通り）では、7月6日（金）の18時03分に、牛田山観音寺の下にある石積み擁壁が崩れ、市道が長さ20mほど土砂で塞がれた。この災害により、市道が約1週間通行止めとなった。



① がけ崩れ直前の状況

崩れる約1分前の状況。泥水が石積みの間から染み出し、砂が流れ出している。



② がけ崩れ直後の状況

石積みが崩れてから3分後の状況。バイクは歩道を通って通過した。



③ 崩れた翌日朝の状況

災害発生翌朝には、水が引いていたが、崩れた石積みと土砂が市道をふさぐ



④ がけ崩れ箇所の応急対策状況

災害発生から約1週間後の7月12日、崩れた箇所に土のうを詰め、その上からブルーシートを張る応急対策工事が行われ、市道の通行止めも解除された。

